

2018年06月（11編）

2018年6月1日のアーカイブ

「否定と肯定」&「ヒトラーに屈しなかった国王」(湊川パルシネマ)



否定と肯定

ホロコースト否定論者を否定した女性歴史学者が名誉毀損で訴えられる。

法廷を中心に繰り広げられる実話。

アウシュビッツ強制収容所での実証や法廷のやり取りに迫力があり見応えがある。

印象に残ったセリフを二つ。

ゲーテの言葉を引用して、「卑怯者は安全なときだけ威丈高になる」

もう一つ、「嘘と説明責任の放棄だけは許せない」。

・監督・脚本：ミック・ジャクソン

・出演：レイチェル・ワイズ／トム・ウィルキンソン／ティモシー・スポール／アンドリュー・スコット／ジャック・ロウデン／カレン・ピストリアス

・2016年／イギリス・アメリカ合作／Denial

ヒトラーに屈しなかった国王

ナチスに抵抗したノルウェー国王の3日間を描く実話。

ナチスへの抵抗により国は占領されるが、亡命先イギリスで国王は反ナチの運動を支援。

民主主義国家のトップランナー、ノルウェーを知る上で国王の言動は興味深い。

・監督・脚本：エリック・ポッペ

・出演：イエスパー・クリステンセン／アンドレス・バースモ・クリスティアンセン／カール・マルコビクス／カタリーナ・シュトラー／ツバ・ノボトニー

・2016年／ノルウェー／Kongens nei

2018年6月1日 カテゴリー：[アート](#) 投稿者：yuyu-sha

2018年6月2日のアーカイブ

鍋蓋山 in 六甲

神戸市民にとって六甲は裏庭のようなもの。

六甲全山縦走のコースのひとつ鍋蓋山に登った。

家から歩いて有馬街道に出る。

鈴蘭台東口から登山開始、

再度（ふたたび）公園と鍋蓋山方面の分岐点を鍋蓋山へ。

山頂で休息、次々と登って来る人たちの数人と会話を楽しむ。

此処からの眺めは六甲山系の中でもトップクラス。

下山道は来た道の途中から再度公園へ。

ワイフと私で造った弁当を開く。

動いたあと、緑の中の食事は旨い。

帰りは外国人墓地の横から仙人谷を下り洞川湖を通過して有馬街道の二軒茶屋にたどり着く。



鍋蓋山山頂から神戸市街を望む↓



鍋蓋山への途中から鈴蘭台(拙宅は画像の真ん中あたり)↓



2018年6月2日 カテゴリー：[エクササイズ](#) 投稿者：yuyu-sha

2018年6月3日のアーカイブ

青もみじ

昨日、六甲の鍋蓋山に登った帰り、陽に照らされ葉裏を煌めかせている「青もみじ」に魅せられた。

新緑のモミジもすてがたい。



2018年6月3日 カテゴリー：無題 投稿者：yuyu-sha

2018年6月4日のアーカイブ

本日の収穫

大きいイワシが釣れた（中イワシ）。

データは以下の通り。

時合い：5時45分～6時半（釣りをした時間17時から18時半

干潮:15時53分 満潮：23時26分 （洲本）

日の入り：19:09

潮：中潮 水温：19度



2018年6月4日 カテゴリー：丸太小屋の四季 投稿者：yuyu-sha

2018年6月11日のアーカイブ

睡蓮とニワフジ

一昨日、森林植物園じアジサイ鑑賞に行った折、表題の花がちょうど咲いていたのでスマホのカメラに収めた。

アジサイの見ごろは一周間ほど先か？





2018年6月11日 カテゴリー：[ぶらっと神戸](#) 投稿者：yuyu-sha

2018年6月12日のアーカイブ

本日のイワシ

午後6時過ぎの20分ほど、食卓の一品を飾るだけのイワシを戴いた。

その前の30分ほど時合いを持って糸を垂れていたらガシラが数匹引っ掛かり小さいのでリリース。

(満潮18:13、大潮)



2018年6月12日 カテゴリー：[丸太小屋の四季](#) 投稿者：yuyu-sha

2018年6月13日のアーカイブ

[福良湾に行く「うずしお観潮船」と「フグの養殖棚」](#)



ランチと入浴に「休暇村南淡路」へ。
久しく来なかったが、なかなかの人。
淡路へ来る人がここ最近めっきり増えた。
そのうち飽きられなければいいが。
当館のロビーから福良湾を撮った。
ロビーからブログをアップ。

反対側ロビーから鳴門方面を。



2018年6月13日 カテゴリー：[あちこち淡路島](#) 投稿者：yuyu-sha

2018年6月15日のアーカイブ

[里山林の復活・キーナの森](#)

昨年開園した「キーナの森」へ。

北区から西区にまたがる64.5ヘクタールの公園は生物多様性の保全や環境体験の拠点としての役割を担う。

「交流棟」の天井でツバメが子育てに精を出していた。



キーナの
のすな

キーナとは、木津・木見・藍野をつなげて「キーナ」と表現。
生物多様性保全の「キー」になる意味を込めています。



キーナの森は、豊富な紅葉山を自然災害等により劣化させることで、豊かな自然の
保全・再生を行うとともに、環境学習や市民活動の拠点として活用することを目的としています。





2018年6月15日 カテゴリー：[ぶらっと神戸](#) 投稿者：yuyu-sha

2018年6月18日のアーカイブ

[昨日は映画と観劇、今朝は大地震](#)

今朝、8時前に揺れた。

此処淡路は被害を耳にしないが、大阪は相当なものらしい。

何処で起こっても不思議でない日本。

「覚悟」と「備え」を急がねば！

昨日は神戸で朝から映画を二本観たあと観劇。

今夜、ロマンス劇場でファンタジックなラブストーリー。
一途な愛のその先は、穏やかな陽射しに包まれる日々。

- ・監督・脚本：武内英樹
- ・出演：綾瀬はるか／坂口健太郎／本田翼／北村一輝／中尾明慶／石橋杏奈
- ・2018年／日本

あなた、そこにいてくれますかこれもファンタジック。
あつくて優しい韓国の愛は人を穏やかな世界に導いてくれる。

- ・監督・脚本：ホン・ジョン
 - ・出演：キム・ユンソク／ピョン・ヨハン／チェ・ソジン／キム・サンホ／アン・セハ
 - ・2016年／韓国／Will You Be There
- (於いて 湊川パルシネマ)



牡丹燈籠

明治時代、落語家の三遊亭園朝が作った怪談噺。

闇夜に響く下駄の音。
カラン…コロロン…。

足のないのが相場の幽霊を下駄の音で登場させた天才三遊亭円朝の怪談噺を大西信行が文学座のために劇化。杉村春子・北村和夫の名コンビにより上演を重ねた人気作。その後、新橋耐子・北村和夫の配役でも再演されてきました。20年ぶりのこの度の上演では、演出・配役を一新。

幽霊よりも怖ろしいのは人の欲！
人の心の光と影、表と裏を

ゆらゆらと映し出す牡丹燈籠。

21世紀を生きる

私たちが照らし出す

怪談の誕生です。



怪談

牡丹燈籠

原作／三遊亭円朝 脚本／大西信行 演出／鶴山 仁

因果は廻る牡丹



早坂直家



石川 武



大原康裕



沢田冬樹



采澤靖起



相川春樹



富沢亜古



つかもと景子



岡 寛恵



梅村綾子



高柳絢子



永宝千晶

美術=乗峯雅寛 照明=古宮俊昭 音響=秦 大介 衣裳=前田文子 殺陣・所作指導=澤村國矢 舞台監督=加瀬幸恵 演出補=西木山香
制作=友谷達之、最首志麻子 ナラシデザイン=チャーハン・ラモーン 宣伝写真=鶴田照夫

(於いて 神戸文化ホール 中)

2018年6月18日 カテゴリー：無題 投稿者：yuyu-sha

2018年6月23日のアーカイブ

「嘘八百」 & 「5パーセントの奇跡・嘘から始まる素敵な人生」

嘘八百

堺を舞台に古物商と陶芸家を中心に「利休の茶器」をめぐる私利私欲に走る人々の虚虚实実のだまし合い。

深みも広がりもなく出演者たちの演技も平凡だ。

- ・ 監督・脚本：武正晴
- ・ 出演：中井貴一／佐々木蔵之介／友近／森川葵／前野朋哉／堀内敬子／坂田利夫

- ・ 2018年／日本

5パーセントの奇跡 嘘から始まる素敵な人生

先天性の弱視でほとんど視力がない青年が5つ星ホテルで働く夢に向かって努力する姿を描いている。

平板な展開が緊張感に欠ける。

二作とも珍しく私の琴線に触れなかった。駄作だったのか、それとも私に問題が？

- ・ 監督・脚本：マルク・ローテムント

・出演：コスティア・ウルマン／ヤコブ・マツチェンツ／アンナ・マリア・ミューエ／ヨハン・フォン・ビューロー／アレクサンダー・ヘルト

・2017年／ドイツ／Mein Blind Date mit dem Leben

(於いて 湊川パルシネマ)

2018年6月23日 カテゴリー：アート 投稿者：yuyu-sha

2018年6月25日のアーカイブ

アジが廻って来だした

ようやくアジが廻って来だした。

間もなくアジを追って太刀魚がやってくるだろう。

イワシの下にアジが引っ掛かるようになった。

そろそろ太刀魚の準備にかかるとするか。



2018年6月25日 カテゴリー：[丸太小屋の四季](#) 投稿者：yuyu-sha